



薩摩川内市立隈之城小学校
令和6年10月25日(児童数718人)

【校訓】

考える 仲よく がんばる

隈小ブローグ



〒895-0041 薩摩川内市隈之城町1392番地1 Tel:0996-23-2604 Fax:0996-22-0581
<http://www.edu.satsumasendai.jp/kumanojo-e/>

行事が育てる

校長 久木田 剛

学校には年間を通して、多くの様々な学校行事があります。そして、それらの行事は、中身の改善など修正はあるものの、よほどのことがない限り減ることもなく毎年繰り返されます。それほど、学校にとって、子供にとって、行事は大切なものなのです。理由は、行事が子供たちを育てるからです。行事には必ず目的や目標があります。子供たちは、全体の目標を意識するとともに、自分なりの目標を立てて、その達成のために頑張ります。行事自体の目標達成も大切なことですが、行事に向かって努力するプロセスが子供たちを大きく成長させます。例えば、11月1日にくまっこフェスタがあります。学年によってフェスタの内容はいろいろですが、これまでの学習の成果を発表する学年があります。学年全体で合唱を発表する4年生。10月30日の市のなかよし音楽会にも出場します。子供たちは、日々の練習の中で、発声方法やリズムの取り方など歌い方の技術を習得するだけでなく、歌うときの心構えやみんなで歌声を合わせるための協調性、心をつにするとといった精神的な部分など、多くのことを学び、身につけながら、当日を迎えるのです。真剣に取り組めば取り組むほど、本番では緊張します。練習を重ねてきたという自信と失敗したらという不安と緊張の中、全力を出したとき、結果はどうであれ、子供たちは大きく成長するのです。フェスタでは、他の学年でも同様の場面を見ることができます。ぜひ、子供たちの成長の瞬間をご覧になってほしいと思います。

さて、この便りの発行後に市のはんやジュニア大会があります。昨年度は市長賞をいただき、地域の方々にも喜んでいただきました。今年も36人の希望者が毎日、昼休み、放課後と練習を重ねています。大会では、これまでの成果を十分発揮した踊りを披露してくれることと思います。このような体験の一つ一つが子供の人間力を養い、高める糧となっています。

文化の秋、学習の秋、スポーツの秋など、過ごしやすい気候で何事にも集中して取り組めるシーズンです。子供たちにとって、充実した秋になるように学校、家庭、地域は見守り、励ましていきたいと考えます。ご家庭でも、子どもたちのサポートを宜しく願います。

大いに盛り上がった150周年記念運動会

9月29日(日)に行いました創立150周年記念運動会には、多くの保護者や地域の皆様方にお越しいただき、盛会のうちに終了することができました。また、事前の準備から当日の片づけまで、多くの皆様方のご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。子どもたちも、暑さの厳しい中でしたが、とても立派な態度で最後まで頑張ってくれました。今後も子どもたちの健やかな成長を目指し、より一層学校・保護者・地域が連携した『コミュニティ・スクール』の充実に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご支援を宜しく願います。



11月の主な行事予定

- 1日(金) 『かごしまの教育』県民週間(～7日)
くまっこフェスタ
- 3日(日) 国民の祝日『文化の日』
川内はんや祭り
- 4日(月) 振替休日
- 6日(水) 食の指導〔3年〕(～7日)
- 8日(金) 第2回学校保健委員会
- 9日(土) 土曜授業日 薩摩川内元気塾〔4年〕
- 12日(火) 水防災河川学習〔5年〕
食の指導〔4年〕(～13日)
- 13日(水) 修学旅行〔6年〕(～14日)
- 15日(金) 6年生修学旅行休養措置日
- 19日(火) バリアフリーコンサート〔全学年〕
市社会福祉課出前授業〔4～6年〕
- 23日(土) 国民の祝日『勤労感謝の日』
- 27日(水) 市小学校陸上記録会
- 28日(木) 避難訓練(火災対応訓練)
- 29日(金) 学級PTA カンガルー事業〔5年〕

おすすめの本、紹介します！

本校では10月8日～18日を読書旬間として設定し、読書に関するさまざまな活動に取り組みました。子どもたちは年間を通して、『くまっ子お話し会』の皆さんに読み聞かせをしていただいたり、移動図書を利用したりしながら、たくさんの本とふれあうことができているのですが、10月の読書旬間では、昼休みに図書委員会の子どもたちがお世話をしながらしおりを作ったり、それぞれおすすめの本を1冊決めて、友だちに紹介する『読書郵便』を書いたりしました。本を直接手に取った活動ではないですが、思いを込めて楽しそうに作成している様子を見ていると、読書の世界を広げる手立ては、まだまだたくさんあるような気がします。ご家庭でも、本の世界とより多くふれあう機会をつくっていただくと幸いです。



自然の中でいろいろなことを体験しました

10月16～17日に、5年生の集団宿泊学習が行われました。ふだんの生活から離れて、みんなで協力して先の動きを考え、自分たちで行動することが求められる1泊2日でしたが、子どもたち一人一人が自然の中での生活を通して、多くのことを学んだり感じ取ったりすることができたのではないかと思います。この経験を、これからの学校や家庭での生活に生かしていけるように、さらに友だちとの絆を深めるとともに、日々の積み上げを大切にしたいと思っています。



←【チームワークゲーム】
14種類の施設の課題を、グループのみなどで知恵を出し合い、協力しながらクリアしていきます。どう助け合うかがカギです。

【楽しい食事の時間】→
2組に分かれて、食事をとりました。みんなよく食べて、おかわりをする子もたくさんいました。会話も弾んで、楽しい時間でした。



←【灯の集い】
全員のろうそくが灯ると、夜空を瞬く星のような輝きが、体育館いっぱいに広がりました。静かに時が流れていくのを感じました。

薩摩川内元気塾の取組紹介

10月の薩摩川内元気塾は、お二人の先生を講師にお招きして、お話を聴かせていただきました。先生方はお話がとても上手で、子どもたちも興味津々に、うなずきながら聞き入っていたのが印象的でした。

10日(木)にお越しいただいた松永信也先生は、視覚障害に40歳のときに失明されたそうで、障害のある方々と助け合って生きていく社会づくりについて、ご自身の体験をもとに、福祉の学習している4年生を対象に分かりやすくお話してくださいました。



また12日(土)には、かごしま探検の会の東川隆太郎先生に『隈之城のまちあるき』と題して、隈之城の歴史や文化について教えていただきました。前半は、史跡など地域を歩けば目にする様々な物について面白く、そして後半は隈之城に関する歴史クイズで大盛り上がりとなりました。子どもたちからは、「あっという間に時間が過ぎた」「隈之城がますます好きになった」などの感想が聞かれました。